



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 2年 1月 17日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライカクチイキツクリカイギ
団体名 平井学区地域づくり会議
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ キチヨウ ナス カズオ
代表者 役職・氏名 議長 那須 和夫

※出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施小学校区・地区	平井小学校区
事業実施回数	新規 ・ (継続) 6 回目 / 【平成27年度から】
課題	平井学区地域づくり会議では、専門部会として「高齢者対策専門部会」を立ち上げ認知症予防対策の一環として「オレンジカフェひらい」を月1回開催している。又「地域課題・ニーズ調査専門部会」では子供たちの居場所づくりとして「プレイパーク」を年2回開催している。その他、地域の山陽学園大学や旭東病院の協力を得て「健康チェック」も年2回開催し、「認知症サポーター養成講座」も年2回開催してきた。 「オレンジカフェひらい」については、参加者の固定化も多少感じられるので、行事の内容や広報について検討する必要がある。また、「プレイパーク」については、参加者の数にばらつきがあるので、現在行っている成徳学校裏山でよいのか又、広報についても検討する必要がある。
事業の目的	地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としている。 まず高齢者対策として、認知症の早期発見のための取り組みや認知症予防の観点から「オレンジカフェひらい」を立ち上げ月1回開催してきた。 また子供たちの居場所づくりの一環として「プレイパーク」を計画し年2回程度実施している。 新たな子供達の居場所づくりとして平井学区にあるコミュニティハウスと隣接する公園を利用して何が出来るか協議をしていく。

事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症予防対策として「オレンジカフェひらい」を月1回開催 2 子供達の居場所づくりの一環として「プレイパーク」を年2回開催 東山公民館との共催で「キャンドルナイト」(公民館に夕方親子で集まって、ゲームをしたり食事をしたり夏至の夕べを楽しむ催し)も実施 3 地域の住民の健康対策として「健康チェック」を年2回開催 4 認知症のことをよく知り、理解を深め認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を年2回開催 5 災害時や防犯に役立つと思われる「緊急用ホイッスル」を平井専用IDカードと共に地域の高齢者と認知症サポーター養成講座受講者に配布する 6 環境保全の一環として「旭川クリーン作戦」を実施する 7 防犯対策として「防犯カメラ作動中」の警告板を作成、学区内に掲示する 昨年は予算が無かったため簡易なチラシとしたが、アルミ板またはアクリル板等で製作し、ある程度の年月に耐えられるものを製作したい
期待される成果・目標	<p>【期待される成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり会議の構成委員は、各種団体の代表者から構成されており、議論された内容や方針など所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る。 ・クリーン作戦を実施することで環境美化の意識をもて、地域住民が顔見知りとなり絆が生まれる ・警告板を設置することで、犯罪の抑止力となり安全安心な地域となる <p>【令和2年度の事業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防のための「オレンジカフェひらい」は、月1回の開催を継続する。 ・「健康チェック」は継続して参加して健康管理が出来るので年2回の開催を継続する。 ・「認知症サポーター養成講座」は地域で認知症を理解する人が増えれば、認知症への不安が軽減できるので、年2回の開催を継続する。 ・「プレイパーク」は学校園の保護者代表が会議に参加したので、実施内容等を協議して年2回実施する。また地域内にあるコミュニティハウスおよび隣接する公園を利用して新たな子供たちの居場所づくりを令和2年2月に試行する。
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり会議で議論された課題やテーマに応じて専門部会を発足させ、同部会で具体検討を行う。 ・専門部会で検討された課題解決策や対策事業の計画などは、地域づくり会議に諮り、審議する。同プロセスにより、効率的な会議運営を行う。 ・学区発刊の新聞や学区のホームページに掲載し、活動内容をアピールする。また他域づくり会議発行のチラシを作成し、活動内容をアピールする。
協働する団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽学園大学・山陽学園短期大学 ・岡山旭東病院 ・東山公民館 ・岡山市ふれあい介護予防センター ・東山中学校区及び平井小学校区の学校園 ・NPO みんなの集落研究所 ・岡山市ボーイスカウト団
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成と世帯配布 地域づくり会議発行 ・学区発刊の新聞に掲載 平井学区連合町内会 ・学区ホームページに掲載 平井学区電子町内会 ・各種団体の発刊誌に掲載 地区社協、地区民児協、学区愛育委員会など

<p>学区地区への広がり</p>	
<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<p>(1)認知症予防対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オレンジカフェひらい」を月1回開催することを継続すると共に、「健康チェック」も継続して年2回開催する。 ・受講者アンケートを参考に認知症のことを理解し、認知症の方に優しい平井学区を目指して、受講後に相談を受ける「認知症サポーター養成講座」を引き続き年2回開催する。 <p>(2)子育て世代の課題とニーズ対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プレイパーク」は年2回開催を継続しながら、子供たちの居場所づくりについてもっと別のアプローチを、新たにメンバーとなった学校関係者と共に協議し実施する。 ・コミュニティハウスと公園を利用し、子供だけの参加もできむかし遊びなどをして子供の居場所づくりをする。 <p>(3)不審者対策としての防犯カメラの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度「防犯カメラ作動中」のチラシを作成し、各町内掲示板に掲示したが、耐久性のある大型の亚克力板で製作（地域でデザイン）し学区内に設置し犯罪抑止力の強化
<p>次年度以降の予定</p>	<p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度（令和2年度）事業活動のチェック（PDCAmCA） ・次年度継続事業の活動計画策定と実行 ・地域課題の残課題検討の方向付けと検討 ・支援体制の仕組みづくり ・新サービス事業の検討と構築 等 <p>②資金の確保について</p> <p>■次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p>□（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>資金確保の具体的な方策：</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内の単位町内会・自治会に対し、本会議をモデルケースに地域で支え合う仕組みづくりや町内会の問題をみんなで考え、話し合うことの重要性を訴求し、単位町内会・自治会へ同様の会議体設立を推進する足がかりとしたい。 ・近年、国の内外で発生する、地震や大水害、巨大台風の発生等に備え、従来とは異なる自主防災について考えていく必要があると考えている。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催
5月	①「オレンジカフェひらい」開催
6月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「認知症サポーター養成講座」開催
7月	①「オレンジカフェひらい」開催
8月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「健康チェック」開催
9月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「旭川クリーン作戦」
10月	①「オレンジカフェひらい」開催
11月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催 ③「認知症サポーター養成講座」開催
12月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催
1月	①「オレンジカフェひらい」開催
2月	①「オレンジカフェひらい」開催
3月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「健康チェック」開催 ③会議報告・反省会

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	170,000	225,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	170,000	225,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	340,000	450,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	80,000	100,000	プリンターインク等事務用品等
②食糧費	40,000	50,000	会議用お茶等
③印刷製本費	50,000	50,000	会議資料コピー代、チラシ等
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	20,000	30,000	切手、郵送料
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	0	0	
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	50,000	120,000	看板製作依頼等(3,000@40)
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	60,000	60,000	講演謝礼
⑭保険料	20,000	20,000	屋外行事の保険
⑮旅費	0	0	
⑯その他	20,000	20,000	
計	340,000	450,000	

◆概算交付の要否 (いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	○希望する	希望しない
-----------	-------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

「オレンジカフェひらい」「プレイパーク」「健康チェック」「認知症養成講座」を例年通り開催しながら、新たな課題に対応した事業や新サービスを推進するために必要である。

注① : 前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注② : 支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。